嬉野市立轟小学校 学校だより



しし、はがリロ



学校 HP ()R コー

令和5年11月16日 13号 文責:校長 白濱正博

祭りだ! 祭りだ! 今年も轟小に祭りがやって来た! ~ PTA のカ、大集結!~

◆学校教育目標◆

夢を持ち、ふるさとを愛し、生き生きと学ぶ轟っ子の育成 ~高い志を持つ、持続可能な社会の創り手とするために~



①っかり学ぶ

- 〇自ら学び考える子
- O真剣に学ぶ子
- 〇自分の思いを表現する子

(い)たわる心

- 〇自他を尊重し、思いやりのある子
- 〇感動し、感謝する子
- 〇ルールやマナーを守る子

(パランスの良い体

- O進んで運動をする子
- 〇チャレンジできる逞しい子
- 〇心も体も健康な子



おいしそうな香りに包まれる玄関ホール

12 日(日)の朝は、登校した子供たちの「おはよう!」という元気な声が学校中に響き渡っていました。子供たちは、今年も「轟小祭り」を楽しみにしていたようです。朝から、どんなお祭りになるのか、ワクワクしている姿が見られました。

今年は、実行委員の皆様方のお計らいにより、以前の轟小祭り同様、親子での昼食を兼ねて、飲食の時間も設けることができました。

昼食会場の玄関ホールでは、おいしそうな香りが充満していて、 子供たちは、カレーライスや豚汁、焼きたてのパンなど、うれしそ うに味わっていました。

中庭や3階ホールでは、〈じ引きやヨーヨー釣りなど、大勢の子供たちが集まり、賑わっていました。

また、この日は、「**ふれ合い道徳の日**」として、道徳の授業も公開させていただきました。

轟小祭りの開催に向けて中心となって運営いただいた実行委員の皆様方、また、ご協力 いただきました保護者並びに地域の皆様方には心よりお礼申し上げます。

■ 1/2成人式(4年)~感謝の気持ちを大事に!~

成人式を迎える前の節目の一つとして、4年生の子供たちが「1/2成人式」を行いました。この「1/2成人式」は、毎年、4年生のPTA 親子行事として開催し、学年部役員の方々にご協力いただいています。式の中で、子供たちは、将来の夢を発表したり、お家の方に手紙や歌で感謝の気持ちを表したりしていました。



■ 宿泊学習(5 年) ~自然との出会い!友との新たな出会い!~



黒髪山の自然に囲まれて



黒髪山山頂 天童岩で

少年自然の家での宿泊学習を体験しました。

強の低山」とも評される隠れた名山の一つです。

が現れる季節だそうです。



友情を深め合ったキャンプファイヤー



励まし合って挑戦した崖下り

途中、険しい難所もありましたが、お互いに励まし合いって、みんなで

登り切ることができました。2日目のわんぱく大冒険でも、 黒髪の森中に、お互いを励まし合ったり、勇気づけたりする

どこまでも続く黒髪の青い空。秋は一年の内で最も澄み切った青い空

この日、5年生の子供たちは、1日(木)と2日(金)の2日間、黒髪

1日目の登山では、山頂の天童岩をみんなでめざしました。標高は518 mと、高い山ではありませんが、実は、その迫力と多彩なルートから「最

子供たちの声がこだましていました。

子供たちは、黒髪山での2日間を通して、自然と出会うと ともに、日頃、一緒に過ごしている友達のよさにも気づくと お互いに友情を深め合うことができました。



いった友との新たな出会いもあり、

才ーケストラがやって来た! ~ いいね!~~ ~



テレマン室内オーケストラを招いて、9日(木)に 音楽鑑賞会を開催しました。コロナ禍による制限 や制約のため、実に、3年ぶりの鑑賞会となりま した。鑑賞会の中では、ヴィヴァルディの合奏協 奏曲《四季》などを披露いただきました。また、 オーケストラと一緒に全校で校歌と市歌を歌い ましたが、全員の声がよく揃っていてとても響き 合っていますと褒めていただきました。

紀はがきコンクール表彰式~税について学ぶ~



6 年生の子供たちに関する 租税教して、「税に関する を生かして、「税に関する る絵はがきコンクール」 に応募しました。 14日(火)は、武雄法

人会の方々が来校され、 校長室で、入賞した子供 たちの表彰式を行って いただきました。税につ

いて考えるいい学びの機会となりました。

リーン大作戦 ~地域の方々と一緒に!~



今年も、ボランティア活動の一環 として、地域コミュニティの環境部 の方々と一緒に、子供たちが学校周 辺の通学路や轟公園内のゴミ拾いを

地域の方々とふれ合いながら、環境美化に努め たところです。

洛 語会 ~寿限無 寿限無 五劫の擦り切れ・・・ ~



3 年生の子供たちの ためにと、地域の方が、 落語やエプロンシアタ ーを披露してください ました。子供たちは、そ の話芸や魅力に聞き入 っていました。

やはり、実際に見聞 きしたり体験したりす

ることに勝るものは無いと実感させられました。